

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	にっこりバンビーン		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 6日		令和7年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 15日		令和7年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達や課題について共通理解を持っている	送迎時の申し送りを重視している。半年に一度オフラインで面談の機会を設け、現在の課題、悩みの聞き取りを実施している。 個々の課題に対する支援内容の方向性や方法を、保護者と共通理解することで、常に質の高い療育を提供できるよう工夫している。	保護者の仕事の都合などでオフラインでの面談が難しい場合への配慮が必要である。 保護者が5領域への理解を深められる機会を提供したい。
2	活動プログラムが固定化しないように工夫している	こどもの興味関心に沿った活動を提供している。ヨガ などなど、専門の講師を招致して質の高いプログラムとなるよう心掛けている。同じプログラムの中でも個々の特性にあった方法を提案するなど工夫をしている。 こどもの素地を伸ばすことを大切に、豊富な経験や深い学びにつなげられている。	今まで触れる機会の無かった事に挑戦し、出来る喜びを感じ様々な可能性に手が届く環境にしたい。 他業種や外部からも意見を取り入れ、提供する療育に良い効果が出るようにブラッシュアップしながらプログラムに反映したいと考えている。

3	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	HUGシステムを使用し、日々の記録をとっている。 それぞれ個々の記録として 継続している事、新しく出来るようになった事、以前と変化がある場合などを記録として残り、定例ミーティングの議題として職員間で共有することで比較・検証・改善に努めている。 システム上で管理しているため、職員はいつでも振り返ることができるようになっている。	ケア記録機能を活かし、些細な事でも記録として残すことでより細やかな支援に繋がると考える。
---	--------------------------------------	---	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	事業所の特徴として、建築段階でできた壁が存在せずパーティションで区切ったワンフロアであることから個別のスペースとなると、どうしても簡易的になってしまう。 賃貸物件であるため工事も認められない。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境が整った物件へ移転する ・パーティションを天井高にあわせて設置し、より個室に近づくものにする